

事業所名		医療型児童発達支援センター つくし園				支援プログラム		作成日		令和 6 年	11 月	1 日	
法人（事業所）理念		療育方針 どんな重度のこども達でも ①細心の注意を払い、最大の冒険をさせる ②目に見える療育効果を引き出す ③「尊厳ある生」を保障する											
支援方針		子どもさんに必要な医療的ケア、機能訓練、保育活動、福祉的支援などを総合的に提供し、子どもさんの発達や成長を支援します。子どもさんが主体的に生活へ取り組み力を育むことを目標とし、小集団での遊びを通して、一人ひとりの発達段階に応じた、全体的な発達を促していきます。また、家族同伴通園を通じ、職員との関わりや保護者同士の交流を行う中で、子育てに対する不安や負担の軽減や、障がいの受容に繋がります。											
営業時間		8 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無		あり					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善（機能訓練の実施）／生活習慣や生活リズムの形成／基本的生活スキルの獲得 登園時に健康状態の確認や個別のリハビリテーション前の診察を行い、安心して活動ができるようにする。 食事、排泄、睡眠、着脱等、基本的な生活習慣の基礎作りを行う。食事は、口腔機能、感覚等に配慮しながら食形態等個別に対応。											
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上／姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用／身体の移動能力の向上／保有する感覚の活用／感覚の補助及び代行手段の活用／感覚の特性への対応 子どもの障がいの状態や発達段階に応じて、リハビリテーション（理学療法、作業療法、言語聴覚療法）を行う。 障がいの程度や発達段階、興味関心に応じて、感覚の活用を行えるよう遊び等を通じて支援する。											
	認知・行動	認知の特性についての理解と対応／対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 障がいの程度や発達段階、興味関心に応じて、遊びや体験の中で視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用できるように支援する。 物の機能や属性、形、色、音などへの気づきを促し、概念として形成できるよう支援する。											
	言語コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上／言語の受容と表出／言語の形成と活用／人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得／コミュニケーション手段の選択と活用／状況に応じたコミュニケーション 障がいの程度や発達段階、興味関心に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく表情や身振り、サイン等を用いて意思の伝達ができるように支援する。 大人やお友だちとのやりとりを通じて、伝わる楽しさや相手の意図をくみ取る経験を積むことでコミュニケーション能力が向上するように支援する。											
	人間関係社会性	アタッチメント（愛着）の形成と安定／遊びを通じた社会性の発達／自己の理解と行動の調整／仲間づくりと小集団への参加 環境に対する安心感、人に対する信頼感を育む。遊びを通じて、大人やお友だちの動きに興味関心を持ち、関わりを持てるように支援する。 集団での活動を通じて、お友だちへの関心や社会性を育む。											
家族支援		・子育ての困り事に対する相談援助 ・子育てや障害等に関する情報提供				移行支援		・就学先への相談援助や情報提供 ・併用利用先との情報共有や連携					
地域支援・地域連携		・保育園や幼稚園、併用事業所との情報連携や調整 ・支援方法についての情報共有、相談援助				職員の質の向上		園内研修、外部研修への積極的な参加					
主な行事等		親子クッキング、療育遠足、運動会、クリスマス会、節分豆まき、お別れ会 など季節行事 保護者勉強会（不定期）、お誕生日会（毎月）											